

### 【はじめに】

平成29年3月26日に大船町、3月23日に日浦町、3月21日に石崎町で養殖コンブの生育状況と漁場環境調査を実施しました。平成28年10～11月にかけて沖に出された養殖コンブについて、これまでに得られた結果と3月の調査概要をお知らせします。

### 【調査概要】



図1 調査地点

函館市の大船町、日浦町、石崎町の養殖コンブ漁場(図1)、養殖コンブの生育状況を調査するとともに、養殖施設付近で、水温、塩分、光量等の鉛直分布を測定しました。また、海水中の無機栄養塩濃度(窒素、リン等)の分析のために水深0、5、10、20m層から海水を採水しました。施設に設置している自記式の水温計、塩分計、深度計、光量子計、照度計のデータ(大船町:12月1日～3月26日、日浦町:12月1日～3月23日、石崎町:12月1日～3月21日)を回収しました。

### 【結果の概要】

#### ①水温、塩分、光量等の鉛直分布(3月調査時)

水温:大船町では海面から水深24m付近まで2℃台で推移し、海底付近ではやや高くなる傾向が見られました(図2左)。日浦町では5.4～5.5℃、石崎町では8.1～8.2℃で、これら2地点では海面から海底までほぼ一定でした。

塩分:大船町では32.6～33.3、日浦町では33.3～33.4、石崎町では33.9～34.0で推移しました(図2中)。

光量:水面付近の光量は、大船町では986μmol(調査時の天候:晴)、日浦町では627μmol(調査時の天候:晴)、石崎町では823μmol(調査時の天候:晴)でした(図2右)。

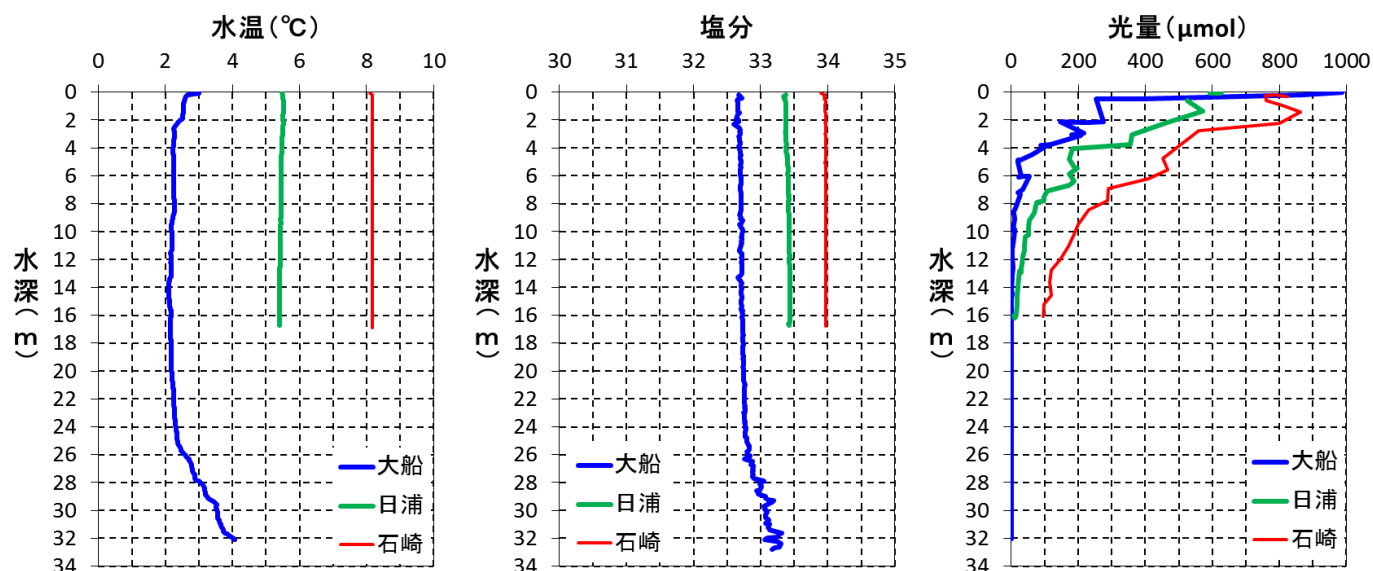


図2 大船町 (H29.3.26)、日浦町 (H29.3.23)、石崎町 (H29.3.21) の養殖漁場における水温、塩分、光量の鉛直分布

## ②連続観測

連続観測によって得られた水温、塩分のデータを示しました（図3）。大船町では3月下旬に水温が2℃台まで低下しました。これまで、養殖コンブの生育に悪影響を及ぼすような、長期間にわたる塩分の著しい低下は観測されておりません。

※石崎町の1月～3月にかけての塩分のデータは、機器の故障のため得られませんでした

※図中の（H28）はH27.12月～H28年7月、（H29）はH28.12月～H29年3月までのデータとなります

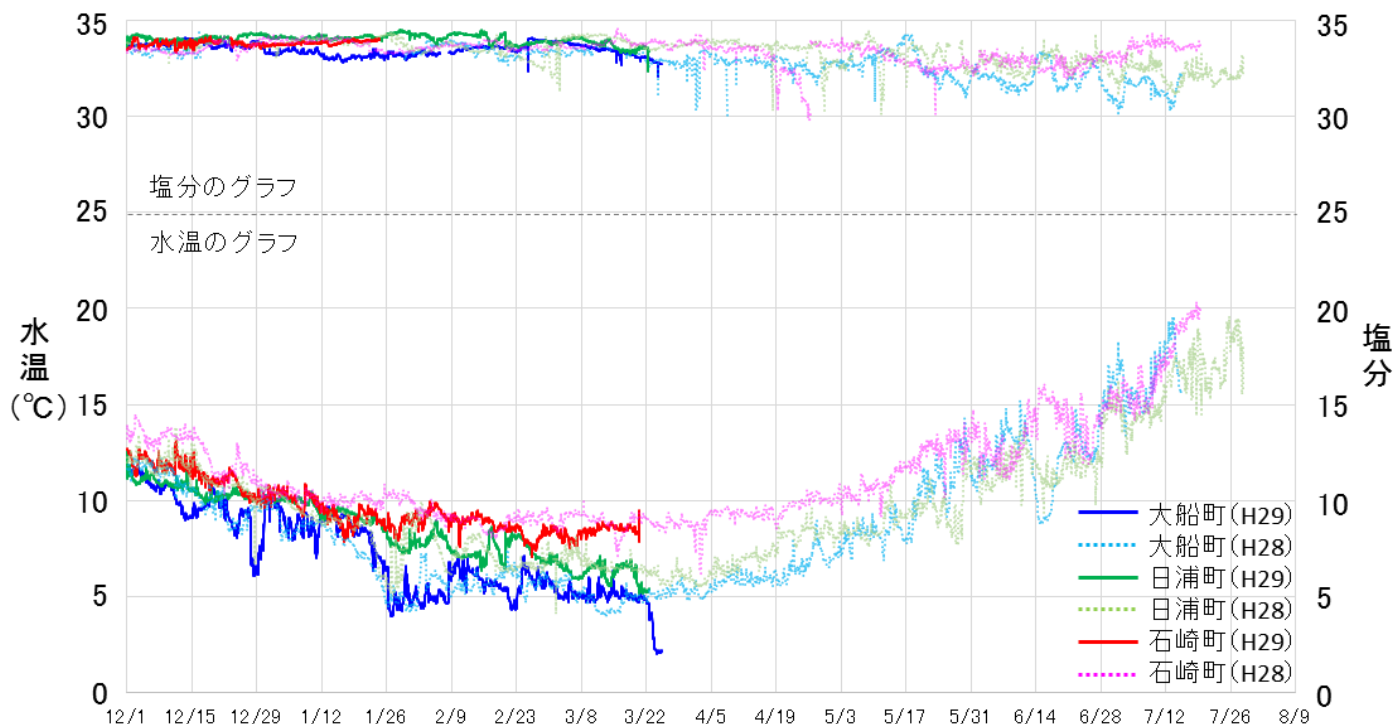


図3 大船町、日浦町、石崎町の養殖漁場における水温・塩分の推移

## ③コンブの生育状況

各地点の養殖コンブの平均葉長、平均葉幅は図を参照下さい（図4）。大船町と日浦町では、コンブの葉先に珪藻類、コケムシの付着が見られました。石崎町では今のところ、目立った付着生物は観察されておりません。

※日浦町のみ、間引作業前の株を採集

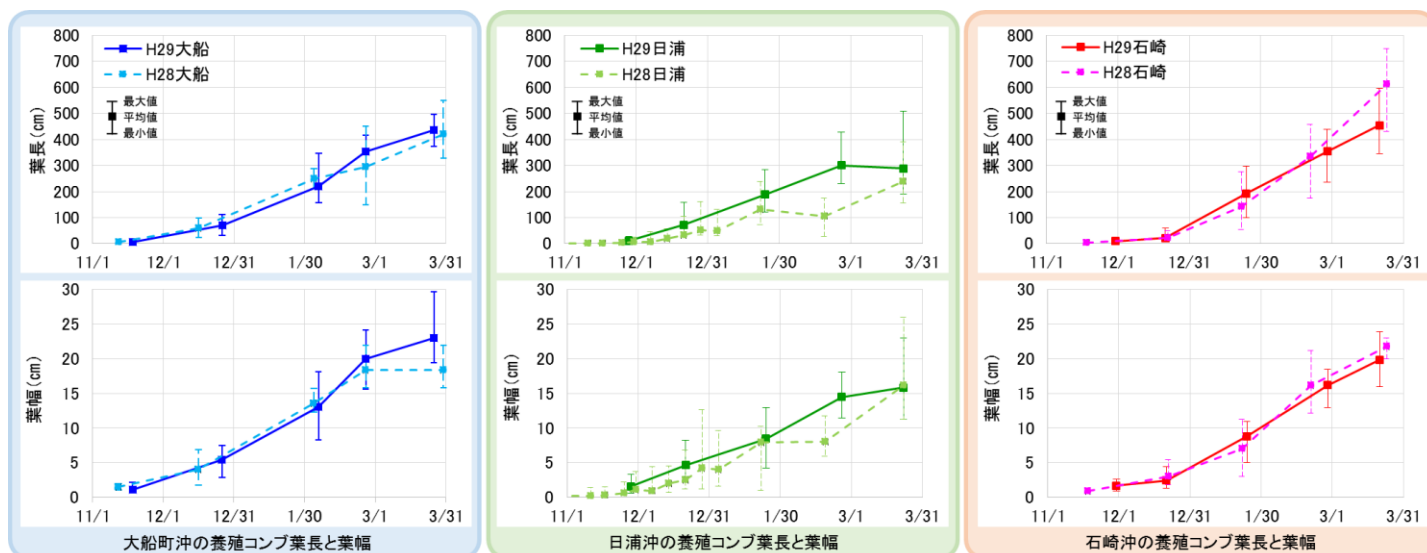


図4 養殖コンブの生育状況

本調査は、関係漁業協同組合、市、町、渡島総合振興局、水産技術普及指導所等と連携して実施しております。内容に関する事、その他情報等ありましたら、最寄りの関係機関、または函館水産試験場までご連絡ください。

### 【お問い合わせ】

〒040-0051 函館市弁天町 20 番 5 号 函館市国際水産・海洋総合研究センター内 Tel. 0138-83-2893 Fax. 0138-83-2849

（この内容はホームページでも公開しています：<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/section/zoushoku/skhn14000000157w.html>

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 函館水産試験場 調査研究部（担当 前田）